

未婚男女の 婚活・結婚意識調査

(2021年3月分)

■ 調査目的

日本では、少子化が大きな社会問題となっており、直接の原因として指摘されているのは「晩婚化の進展」や「夫婦出生力の低下」などと言われている。政府は、2020年に新たな少子化社会対策大綱を策定し、総合的かつ長期的な少子化に対処するための指針を示している。しかし、2021年3月に発表された厚生労働省の人口動態統計の速報値では、今年1月の出生数が前年同月と比べ14.6%減少し、63,742人だったことが明らかになった¹。厚労省の担当者によると、新型コロナウイルス感染拡大により、妊娠や出産を控える動きが出生数にも影響しているとのこと。

リンクバルは、オンライン・オフラインともに新たな出会いの場を提供し、未婚男女の婚活を支援している。本調査で、実際に婚活をしている未婚男女の現在の婚活状況や結婚に関する意識を把握し、より婚活の支援を強化することで、少子化という大きな社会問題の解決に寄与していく。

■ 調査概要

- ・ 調査タイトル : 未婚男女の婚活・結婚意識調査
- ・ 対象 : 18歳以上の未婚男女1,628名（男性885名、女性743名）
- ・ 調査期間 : 2021年3月24日（水）～31日（水）
- ・ 調査方法 : CoupLink会員へのwebアンケート

※本調査内容を転載・ご利用の際は「未婚男女の婚活・結婚意識調査 株式会社リンクバル調べ」とご記載ください

■ 調査対象

性別/年齢	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳以上	全体
男性	1	62	275	228	166	82	46	19	6	0	885
女性	0	83	247	195	118	54	27	14	3	2	743
全体	1	145	522	423	284	136	73	33	9	2	1,628

¹厚生労働省「人口動態統計速報（令和3年1月）」

■ 調査内容

1. 出会いの状況について

- 1-1. 婚活サービス以外での出会い有無
- 1-2. 婚活サービスを通じての出会い状況

2. 婚活サービス利用について

- 2-1. 婚活サービスの利用開始年齢
- 2-2. 婚活サービスを知ったきっかけ
- 2-3. 婚活サービスの利用開示
- 2-4. 利用経験のある婚活サービスのジャンル
- 2-5. 現在利用している婚活サービスのジャンル
- 2-6. 今後利用したい婚活サービスのジャンル
- 2-7. 婚活サービスに毎月かけられる費用
- 2-8. 婚活サービスでのアプローチ可否
- 2-9. 婚活サービスでのコミュニケーション

3. 相手の希望条件について

- 3-1. 相手の重視するポイント
- 3-2. 相手の理想の年代
- 3-3. 相手に求める性格
- 3-4. 相手に求める最低年収
- 3-5. 相手に求める職業ジャンル
- 3-6. 相手の喫煙に対する意識

4. 交際・結婚後の希望について

- 4-1. 交際までの希望デート回数
- 4-2. 結婚までの希望交際期間
- 4-3. 希望結婚時期
- 4-4. 家事・育児の参加希望
- 4-5. 子供の希望人数
- 4-6. 結婚後の働き方

■ 調査のポイント

1. 出会いの状況について

- 1-1. 未婚男女の7割以上が「婚活サービス以外での出会いがない」状況
- 1-2. 過去に婚活サービスを通じて「付き合ったことがある」未婚男女3割

2. 婚活サービス利用について

- 2-1. 婚活サービスの利用開始年齢「25～29歳」が最も多く約4割
- 2-2. 婚活サービスを知ったきっかけ「知人からの紹介」が3割以上
- 2-3. 婚活サービスの利用について「友達に話している」女性約7割、男性半数以下
- 2-4. これまで利用してきた婚活サービス「マッチングアプリ」が約8割で1位
- 2-5. 現在利用している婚活サービス「マッチングアプリ」が約8割で1位
- 2-6. 今後利用したい婚活サービス「対面型婚活イベント」が6割以上
- 2-7. 婚活サービスに毎月かけられる費用「5,000円以内」男性半数以上、女性8割以上
- 2-8. 婚活サービス利用中に「自分からアプローチできる」男性9割以上、女性7割以上
- 2-9. 2人に1人が婚活サービスでのコミュニケーションを面倒と感じている

3. 相手の希望条件について

- 3-1. 相手の重視するポイント「年齢」が1位
- 3-2. 相手の理想の年代、男性「同年代以下」、女性「同年代以上」が約6割
- 3-3. 相手に求める性格、男性「明るい」、女性「優しい」が最も多い
- 3-4. 相手に求める最低年収、男性「300万円」、女性「400万円」が最も多い
- 3-5. 相手に求める職業、男性「こだわらない」7割以上、女性「会社員」半数以上で最も多い
- 3-6. 相手の喫煙は「気になる」が7割以上

4. 交際・結婚後の希望について

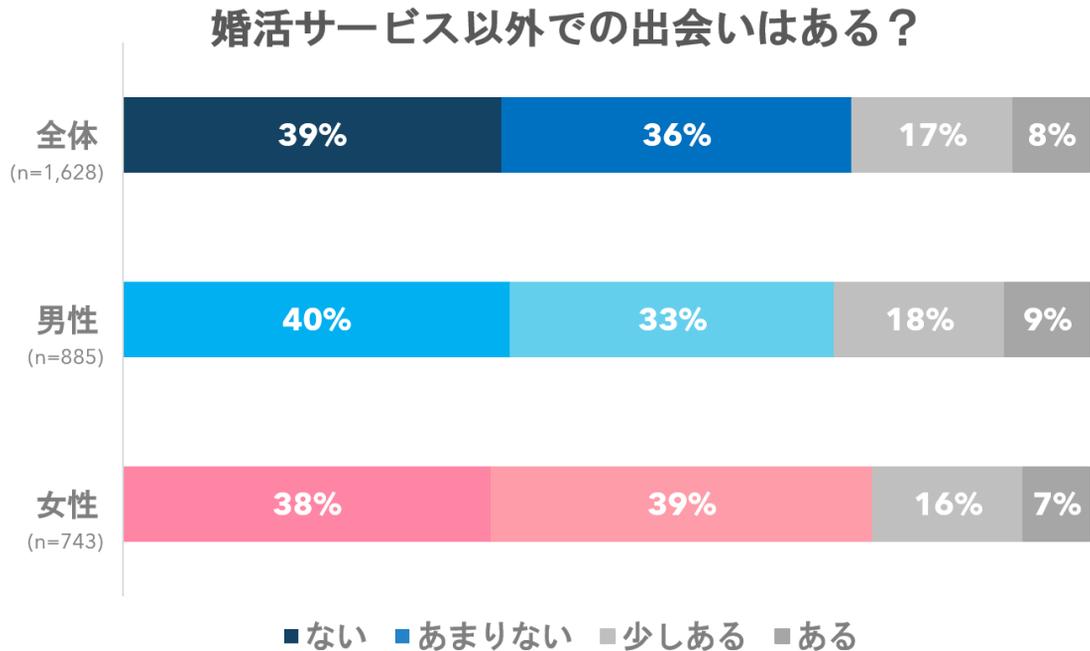
- 4-1. 婚活サービスで知り合った相手と付き合うまでの希望デート回数「3回」が約4割
- 4-2. 婚活サービスで付き合った相手と結婚するまでの理想の期間「1年以内」が4割以上
- 4-3. 未婚男女の約7割が「3年以内」の結婚を望んでいる
- 4-4. 相手に「家事・育児に参加してほしい」が約9割
- 4-5. 将来の子供「2人欲しい」が約6割
- 4-6. 結婚後の理想の働き方、2人に1人が「共働き」を希望

■ 調査の詳細

1. 出会いの状況について

1-1. 未婚男女の7割以上が「婚活サービス以外での出会いがない」状況

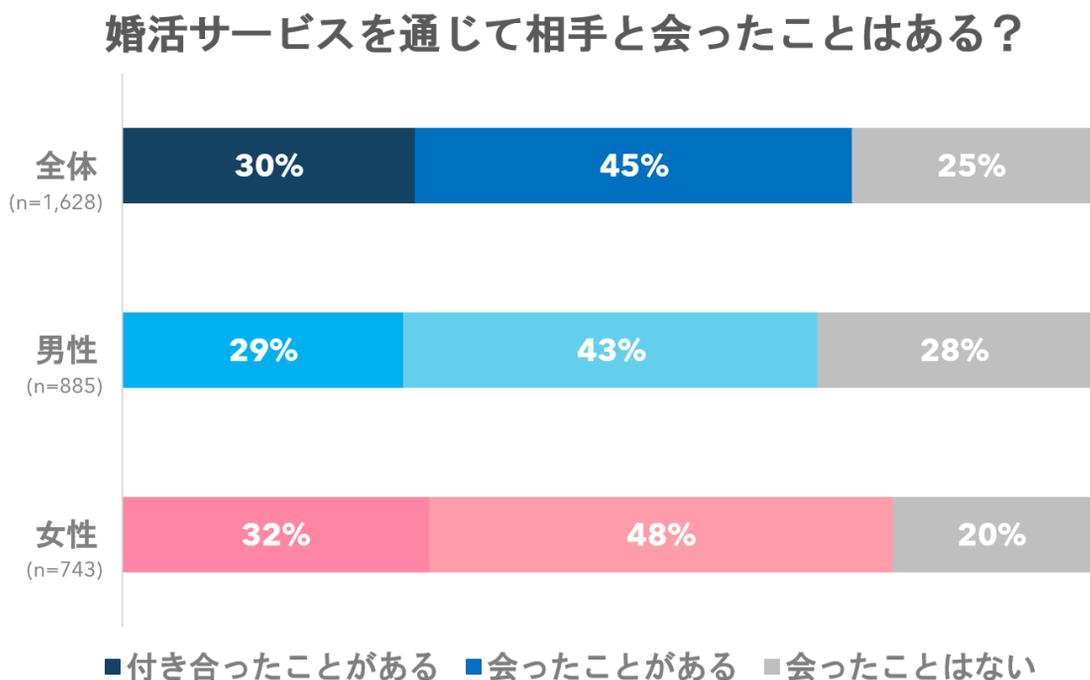
未婚男女の現在の出会いの状況を見ると、男性73%、女性77%が「婚活サービス以外での出会いがない」と回答。日常の中だけでは新たな出会いがない状況であることが分かる。



machicon
JAPAN

1-2. 過去に婚活サービスを通じて「付き合ったことがある」未婚男女3割

婚活サービスを通じて出会った相手と実際に会ったことがあるかを調査したところ、男性29%、女性32%が「付き合ったことがある」と回答。「会ったことがある」に関しては、男性43%、女性48%で、「付き合ったことがある」も含めると7割以上が婚活サービスを通じて出会えていることが分かる。



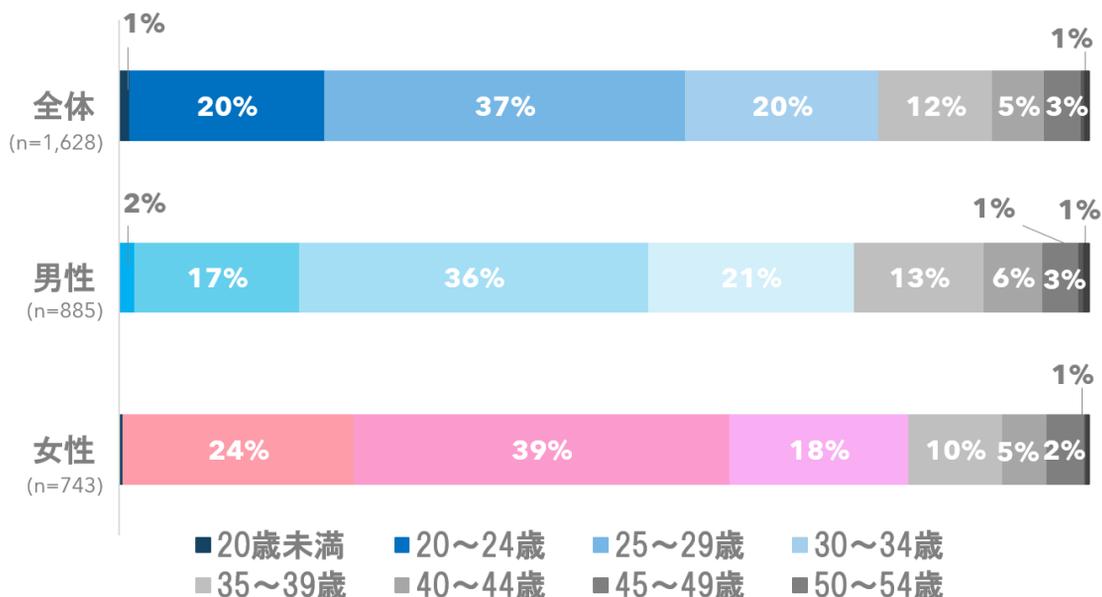
machicon
JAPAN

2. 婚活サービス利用について

2-1. 婚活サービスの利用開始年齢「25～29歳」が最も多く約4割

婚活サービスの利用開始年齢を調査したところ、男性36%、女性39%で「25～29歳」が最も多い結果になった。男女別に見ると30歳までに婚活サービスを利用し始めた割合は、男性よりも女性が8ポイント多く、女性の方が早めに婚活サービスを使い始めていることが分かる。

婚活サービスをいつから利用し始めた？

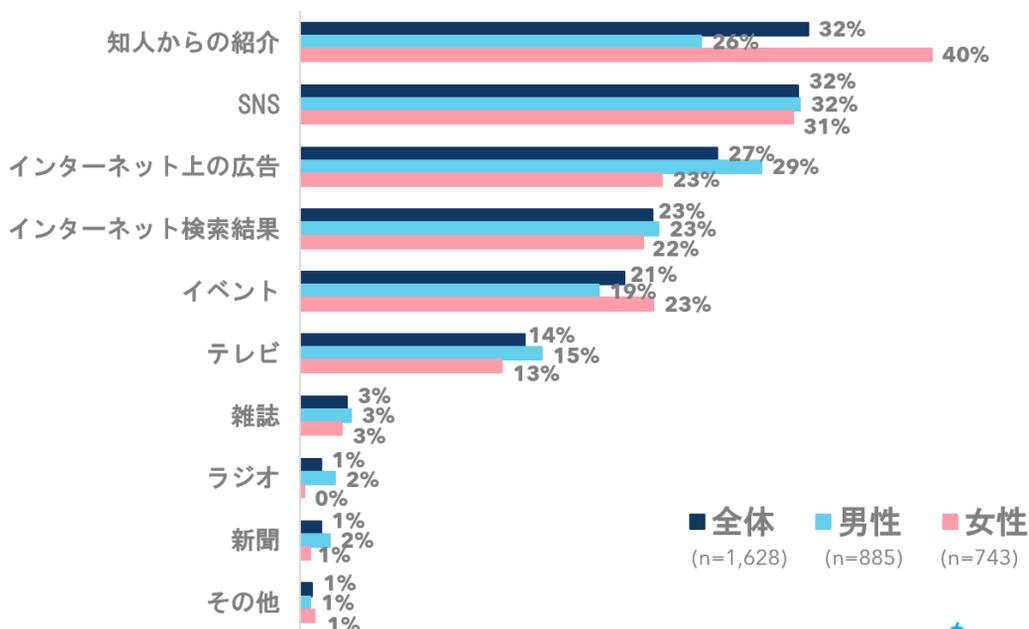


machicon JAPAN

2-2. 婚活サービスを知ったきっかけ「知人からの紹介」が3割以上

婚活サービスを知ったきっかけを調査すると、男性は「SNS」32%、「インターネット上の広告」29%、「知人からの紹介」26%という順位であるのに対し、女性は「知人からの紹介」40%、「SNS」31%、「インターネット上の広告」「イベント」23%と、男女で順位が違う結果となった。

婚活サービスを知ったきっかけは？（複数回答可）

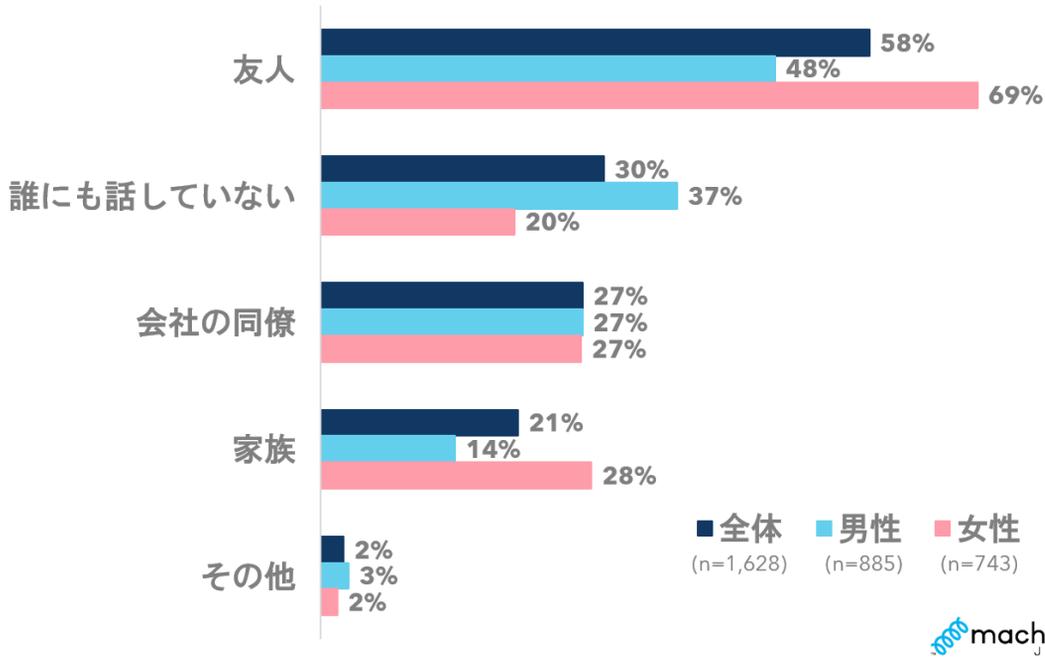


machicon JAPAN

2-3. 婚活サービスの利用について「友達に話している」女性約7割、男性半数以下

婚活サービスを利用していることを誰に話しているかを調査すると、男女ともに「友人」に話しているのが最も多い結果になったが、男性が48%と半数以下だったのに対し、女性は69%と21ポイントの差が出た。また、男性は「誰にも話していない」が37%で女性20%に対し、17ポイント多く、婚活に関することを周りに話さない傾向であることが分かる。

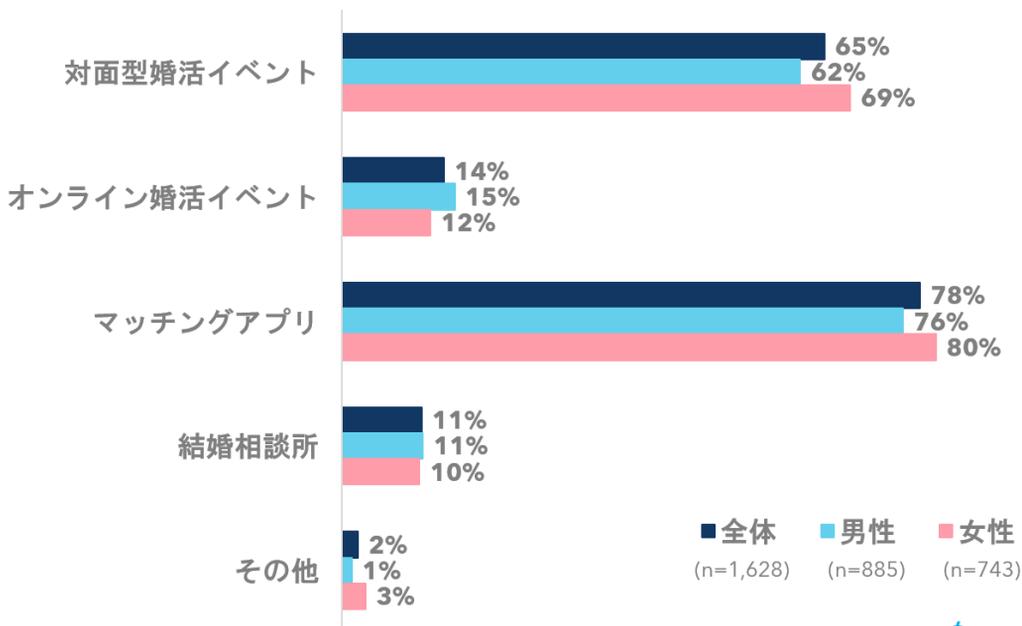
婚活サービスの利用を誰に話している？（複数回答可）



2-4. これまで利用してきた婚活サービス「マッチングアプリ」が約8割で1位

利用経験のある婚活サービスを調査すると、男性76%、女性80%と男女ともに「マッチングアプリ」が最も多い結果となった。次いで「対面型婚活イベント」が男性62%、女性69%、「オンライン婚活イベント」が男性15%、女性12%、「結婚相談所」が男性11%、女性10%と続いている。

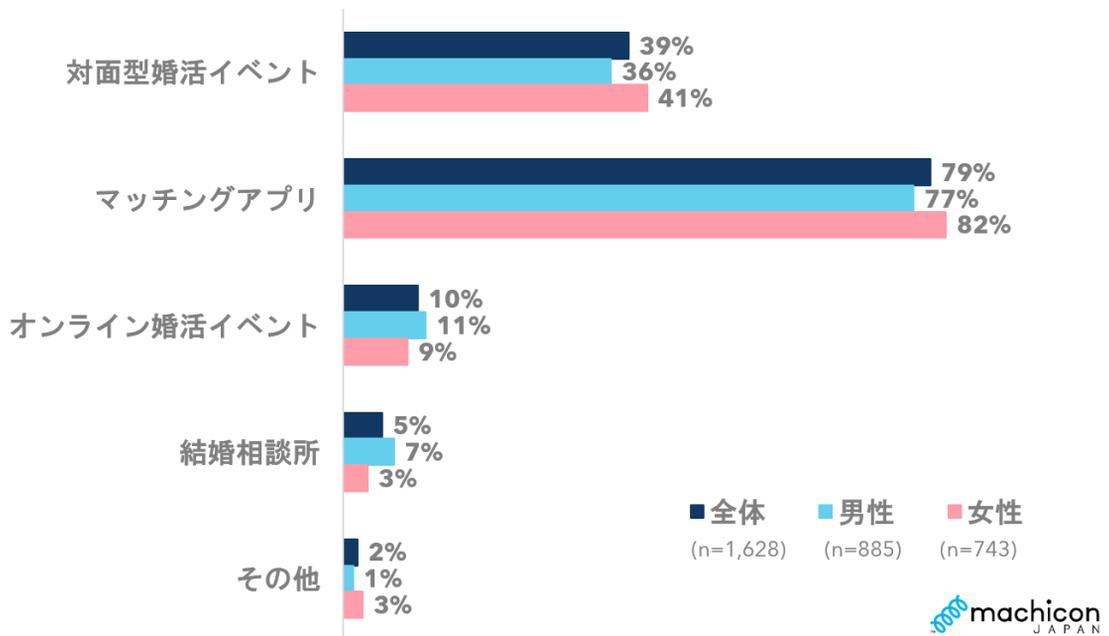
利用経験のある婚活サービスは？（複数回答可）



2-5. 現在利用している婚活サービス「マッチングアプリ」が約8割で1位

コロナ禍でどのような婚活サービスを利用しているか調査すると、男性77%、女性82%で「マッチングアプリ」が最も多い結果となった。続く「対面型婚活イベント」とは2倍近く差が出ており、コロナ禍ではリアルで出会う婚活サービスの利用が少ないことが分かる。

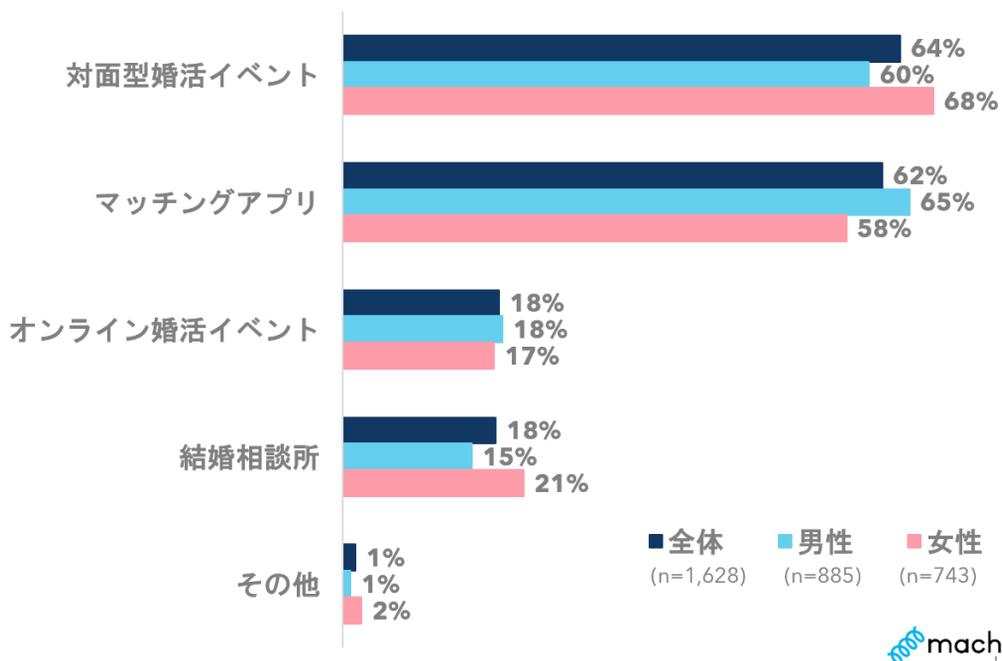
現在利用している婚活サービスは？（複数回答可）



2-6. 今後利用したい婚活サービス「対面型婚活イベント」が6割以上

今後利用したい婚活サービスについて調査すると、男性は「マッチングアプリ」65%、「対面型婚活イベント」60%、「オンライン婚活イベント」18%という順位になり、女性は「対面型婚活イベント」68%、「マッチングアプリ」58%、「結婚相談所」21%と、男女で順位が変わる結果となった。

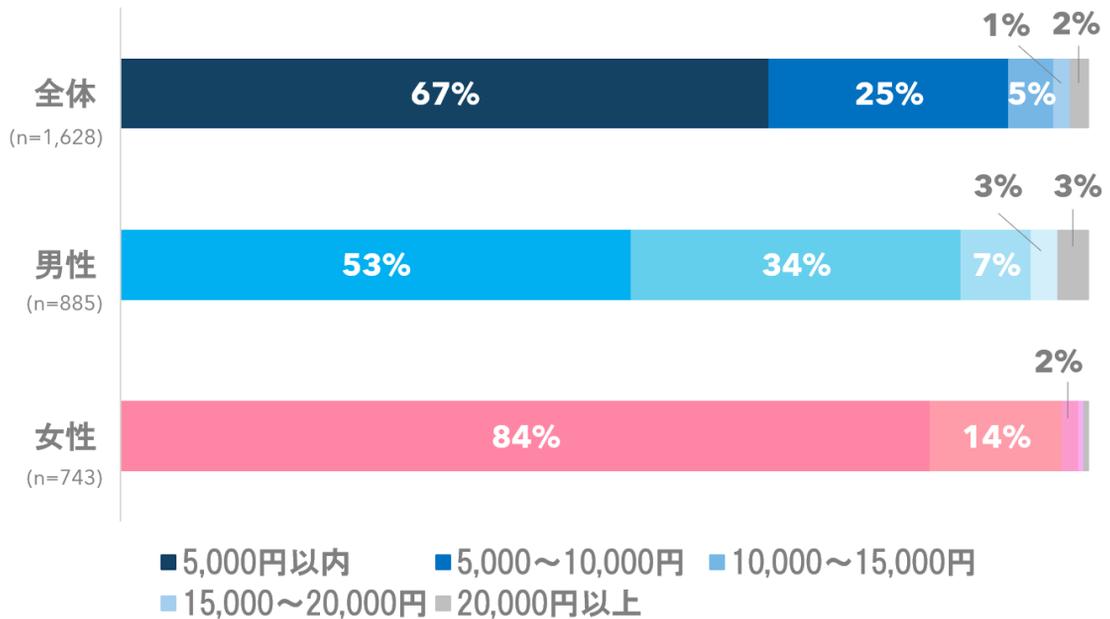
今後利用したい婚活サービスは？（複数回答可）



2-7. 婚活サービスに毎月かけられる費用「5,000円以内」男性半数以上、女性8割以上

婚活サービスに毎月かけられる費用について調査すると、男性53%、女性84%が「5,000円以内」と回答。男女で31ポイントの差がつく結果となった。

婚活サービスにかけられる毎月の費用は？

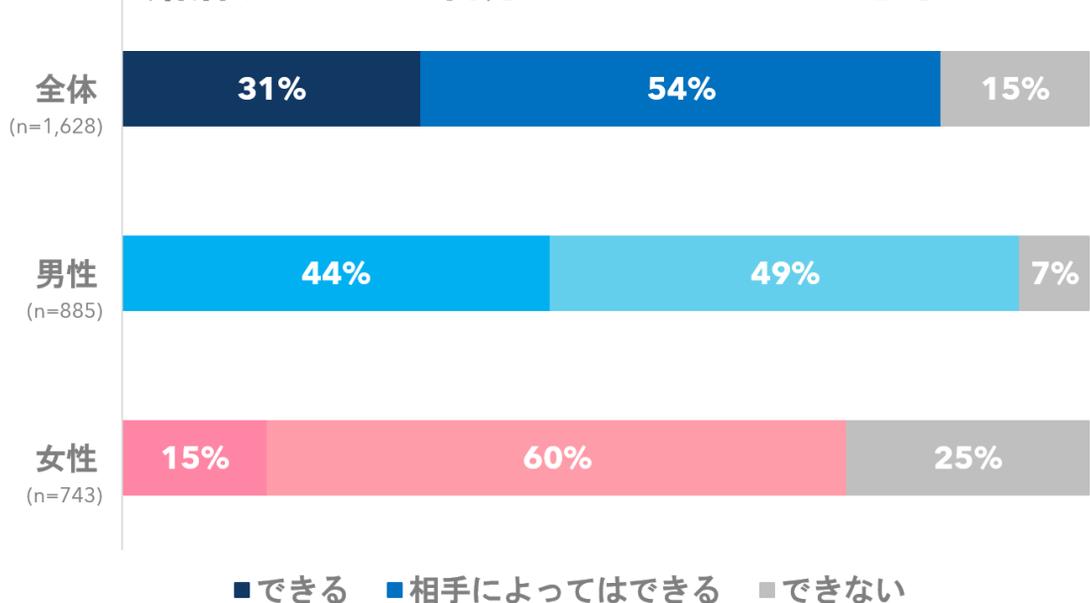


machicon JAPAN

2-8. 婚活サービス利用中に「自分からアプローチできる」男性9割以上、女性7割以上

婚活サービス利用時に自分からアプローチできるかを調査すると、男性93%、女性75%が「できる」「相手によってはできる」と回答。

婚活サービスで自分からアプローチできる？

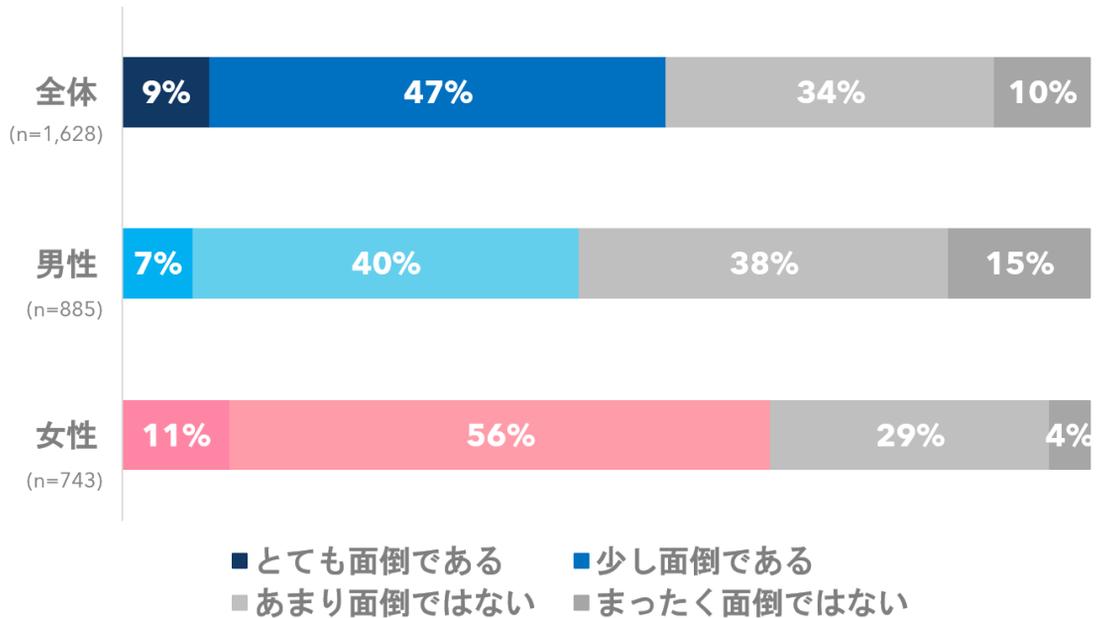


machicon JAPAN

2-9. 2人に1人が婚活サービスでのコミュニケーションを面倒と感じている

婚活サービス利用時に相手とのコミュニケーションを面倒に感じるかどうかを調査すると、男性47%、女性67%が「とても面倒である」「少し面倒である」と回答。女性は男性よりも20ポイント多く面倒だと感じていることが分かる。

婚活サービスでのコミュニケーションで面倒に感じたことはある？

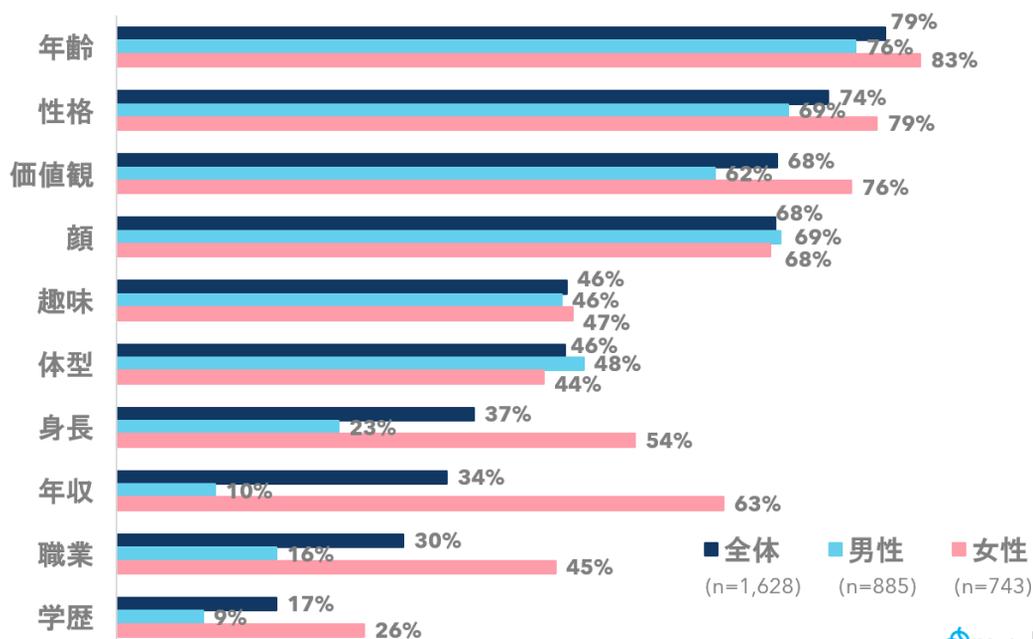


3. 相手の希望条件について

3-1. 相手の重視するポイント「年齢」が1位

相手の重視するポイントを調査すると、男性は「年齢」76%、「性格」「顔」69%、「価値観」62%、女性は「年齢」83%、「性格」79%、「価値観」76%と、男女で重視するポイントが近いことが分かった。一方で「身長」「年収」は男女で大きな差が出ている。「身長」は女性が男性に比べて31ポイント多く、「年収」は53ポイント多い結果となった。

相手の重視するポイントは？（複数回答可）

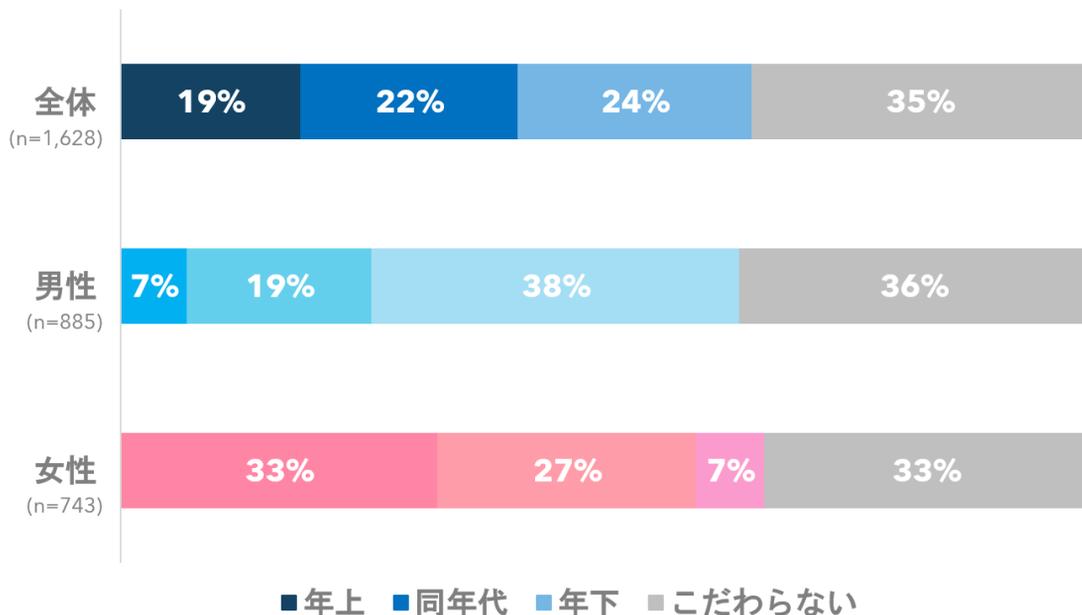


machicon JAPAN

3-2. 相手の理想の年代、男性「同年代以下」、女性「同年代以上」が約6割

相手の理想の年代を調査すると、男性は「年下」38%、「こだわらない」36%、「同年代」19%、「年上」7%であったのに対し、女性は「年上」33%、「こだわらない」33%、「同年代」27%、「年下」7%と男女で1位が逆の結果となった。

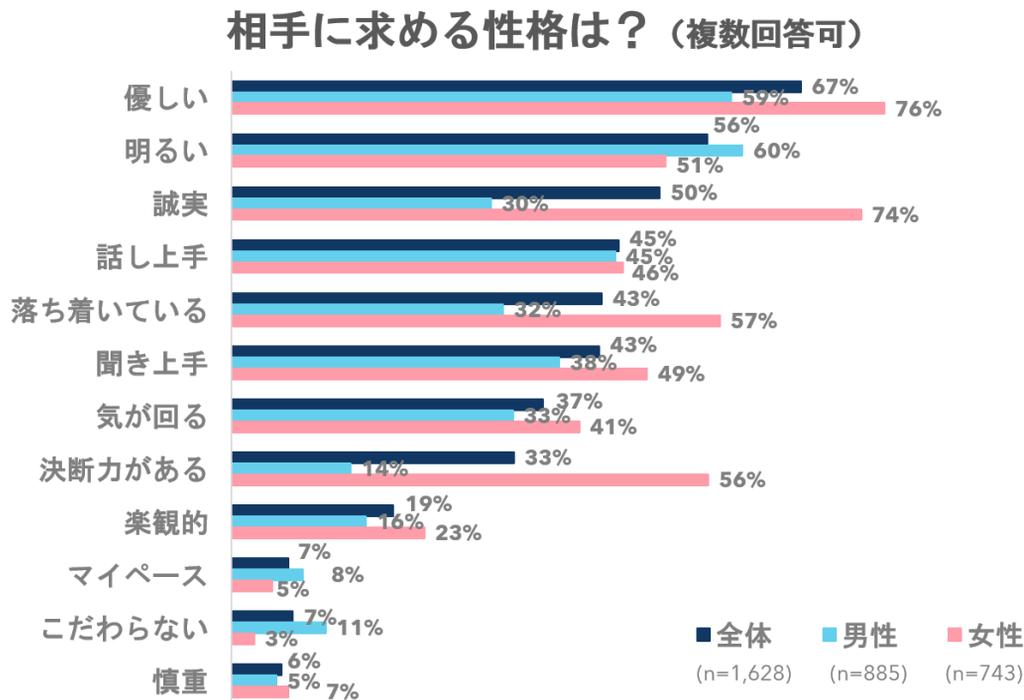
相手の理想の年代は？



machicon JAPAN

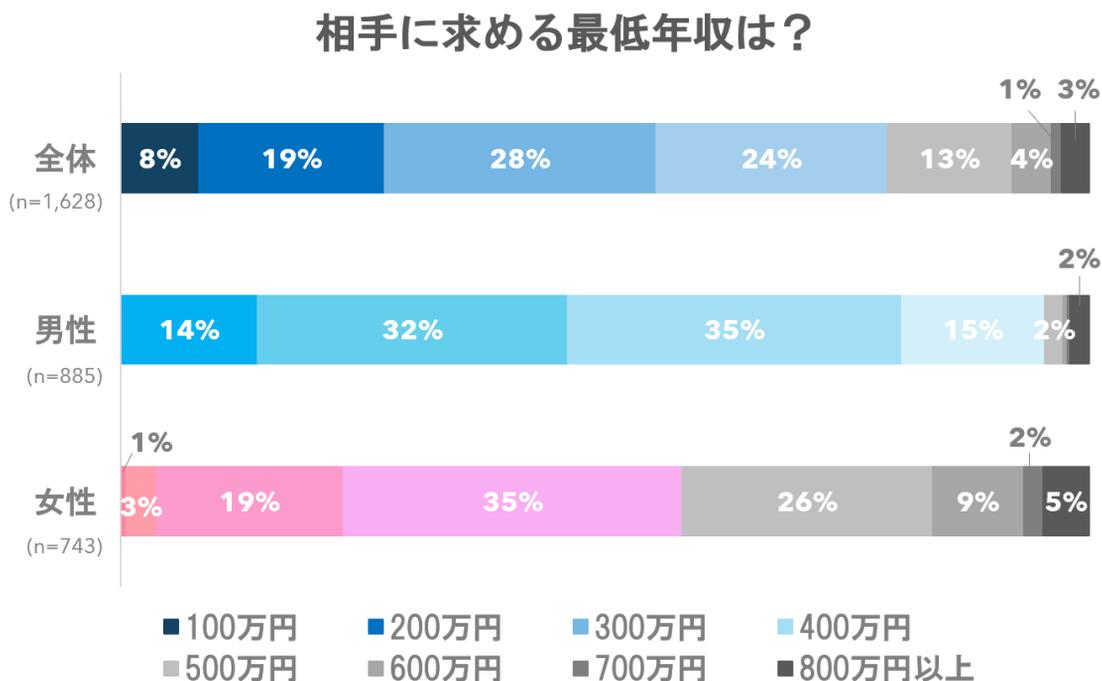
3-3. 相手に求める性格、男性「明るい」、女性「優しい」が最も多い

相手に求める性格を調査すると、男性は「明るい」60%、「優しい」59%、「話し上手」45%に対し、女性は「優しい」76%、「誠実」74%、「落ち着いた」57%と、男女で異なる結果となった。



3-4. 相手に求める最低年収、男性「300万円」、女性「400万円」が最も多い

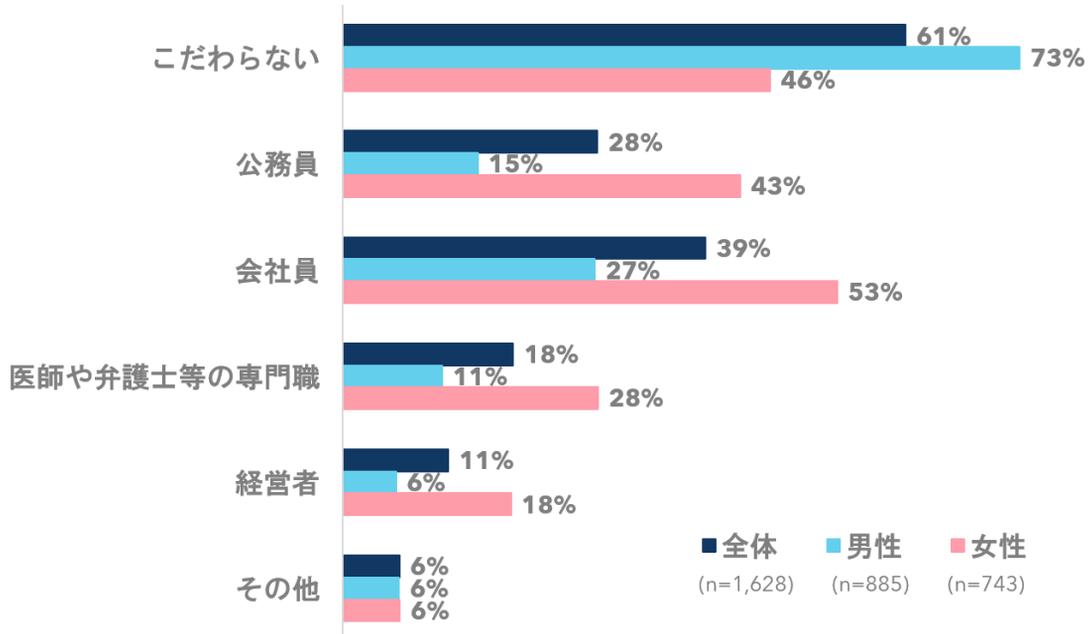
相手に求める最低年収を調査すると、男性は「300万円」35%、「200万円」32%、「400万円」15%、女性は「400万円」35%、「500万円」26%、「300万円」19%という結果となった。男女ともに相手にある程度の年収を求める傾向にあることが分かる。



3-5. 相手に求める職業、男性「こだわらない」7割以上、女性「会社員」半数以上で最も多い

相手に求める職業について調査すると、男性は「こだわらない」73%、「会社員」27%、「公務員」15%、女性は「会社員」53%、「こだわらない」46%、「公務員」43%と、男女で異なる結果となった。

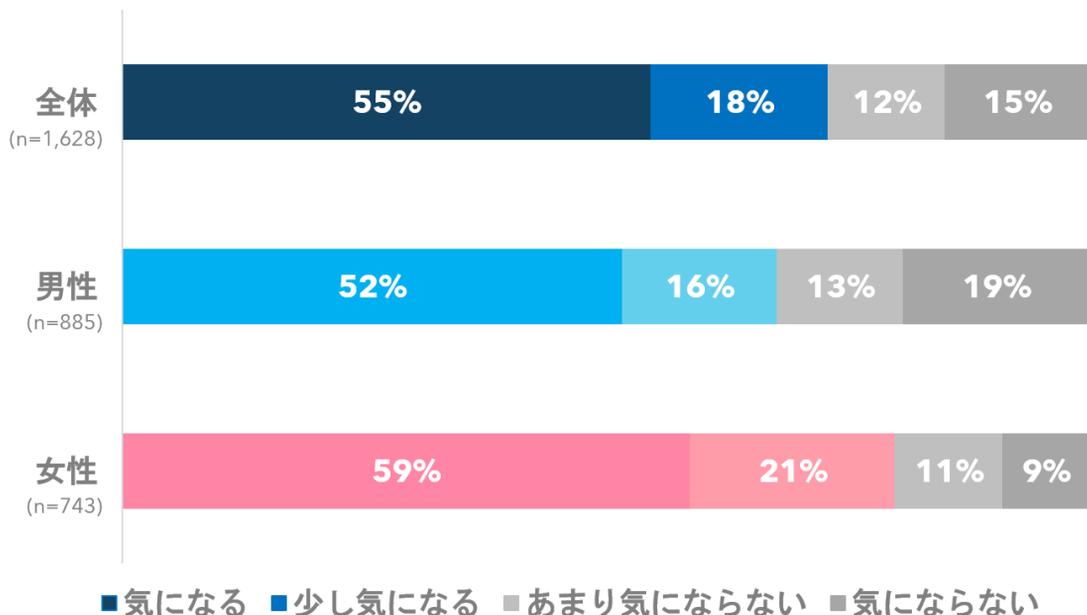
相手に求める職業は？（複数回答可）



3-6. 相手の喫煙は「気になる」が7割以上

相手の喫煙について調査すると、男性68%、女性80%が「気になる」「少し気になる」と回答。男女ともに相手の喫煙が気になる傾向にあることが分かる。

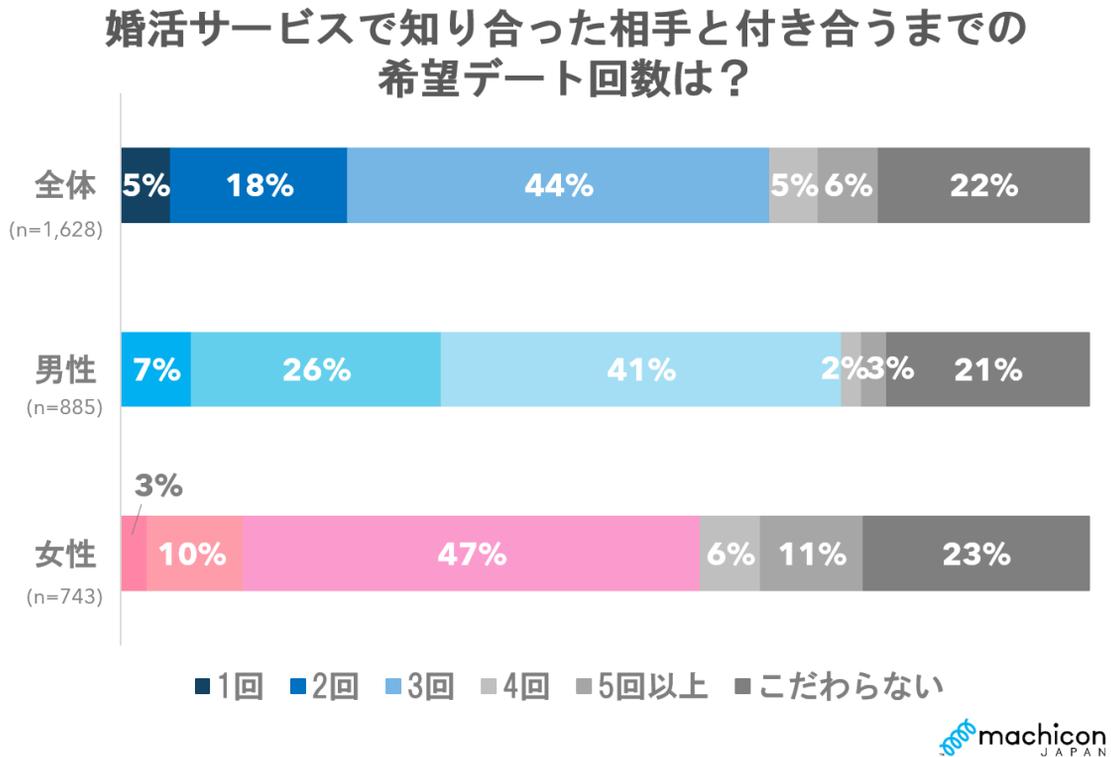
相手の喫煙は気になる？



4. 交際・結婚後の希望について

4-1. 婚活サービスで知り合った相手と付き合うまでの希望デート回数「3回」が約4割

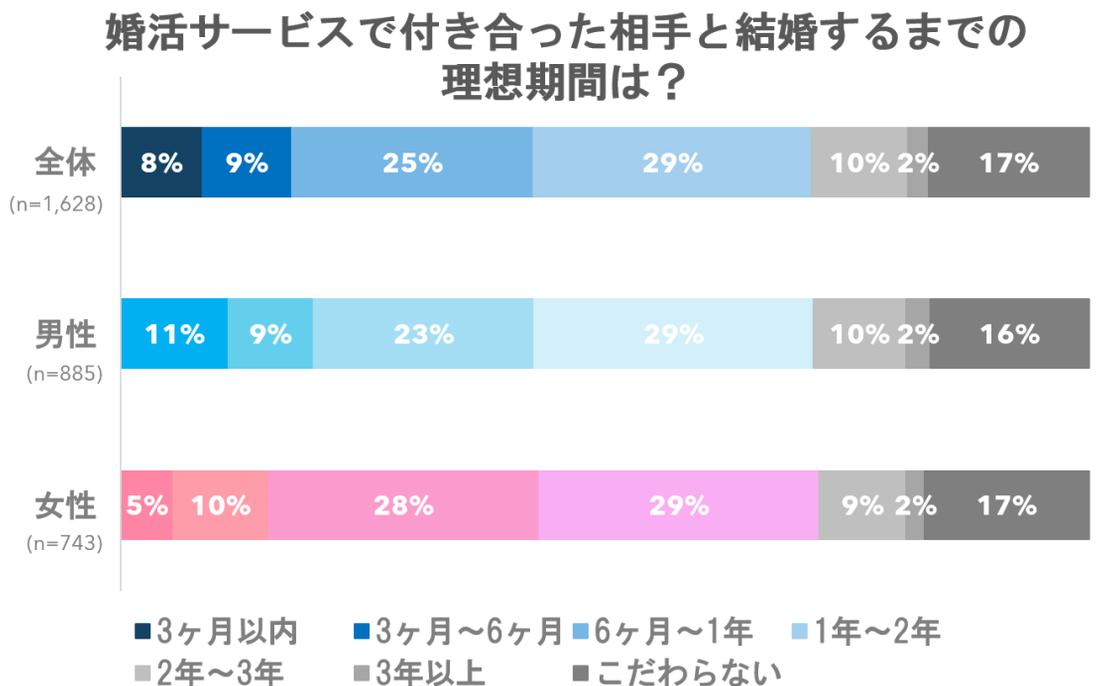
婚活サービスで知り合った相手と付き合うまでの希望デート回数を調査すると、男性は「3回」41%、「2回」26%、「こだわらない」21%、女性は「3回」47%、「こだわらない」23%、「5回以上」11%という結果となった。



machicon JAPAN

4-2. 婚活サービスで付き合った相手と結婚するまでの理想の期間「1年以内」が4割以上

婚活サービスで付き合った相手と結婚するまでの理想の期間を調査すると、男女ともに43%が「1年以内」と回答。ランキングで見ると、男女ともに「1年～2年」が29%と最も多いことが分かる。

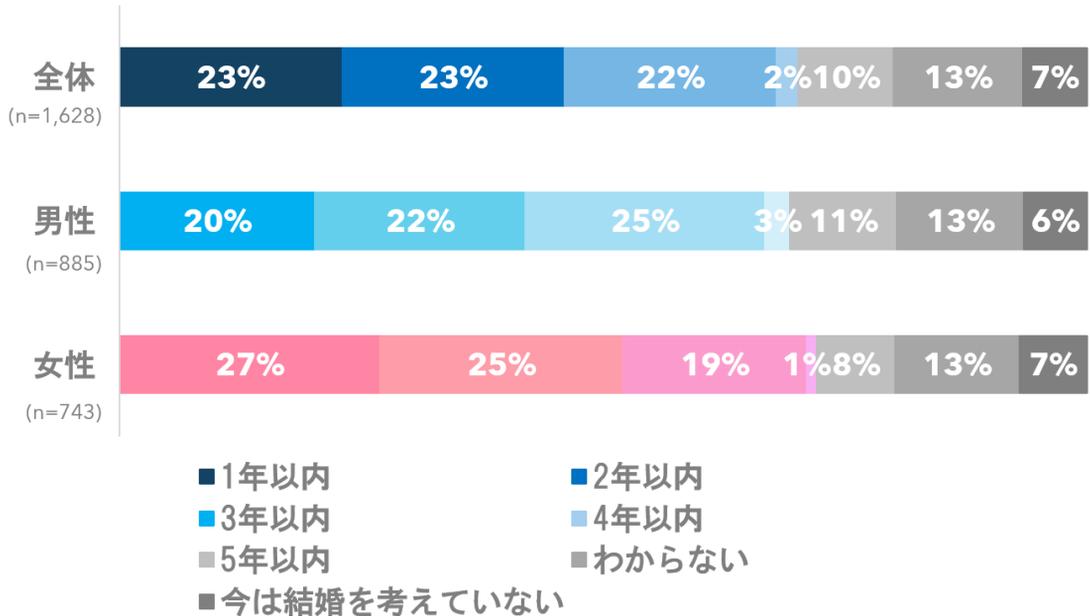


machicon JAPAN

4-3. 未婚男女の約7割が「3年以内」の結婚を望んでいる

何年以内に結婚したいかを調査すると、男性は「3年以内」25%、「2年以内」22%、「1年以内」20%に対し、女性は「1年以内」27%、「2年以内」25%、「3年以内」19%と、女性のほうが男性に比べて早く結婚を望んでいることが分かる。一方で、約2割が「分からない」「今は結婚を考えていない」と回答しており、必ずしも結婚を望んでいるわけではない未婚者が5人に1人いることがうかがえる。

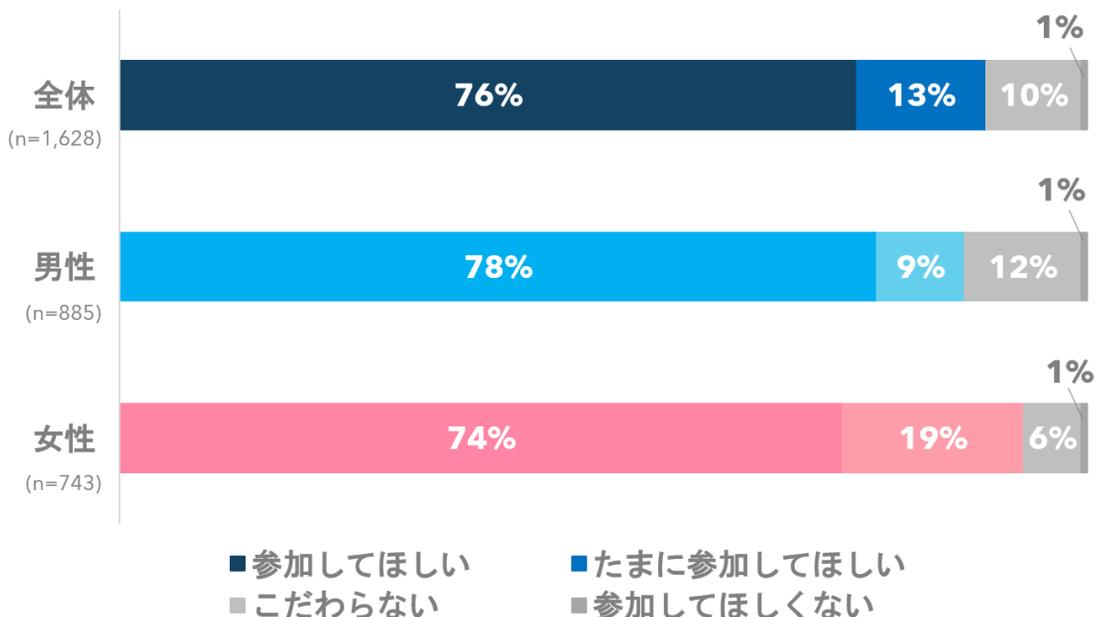
何年以内に結婚したい？



4-4. 相手に「家事・育児に参加してほしい」が約9割

相手に家事・育児への参加をどれくらい求めるかを調査すると、男性87%、女性93%が「参加してほしい」「たまに参加してほしい」と回答。

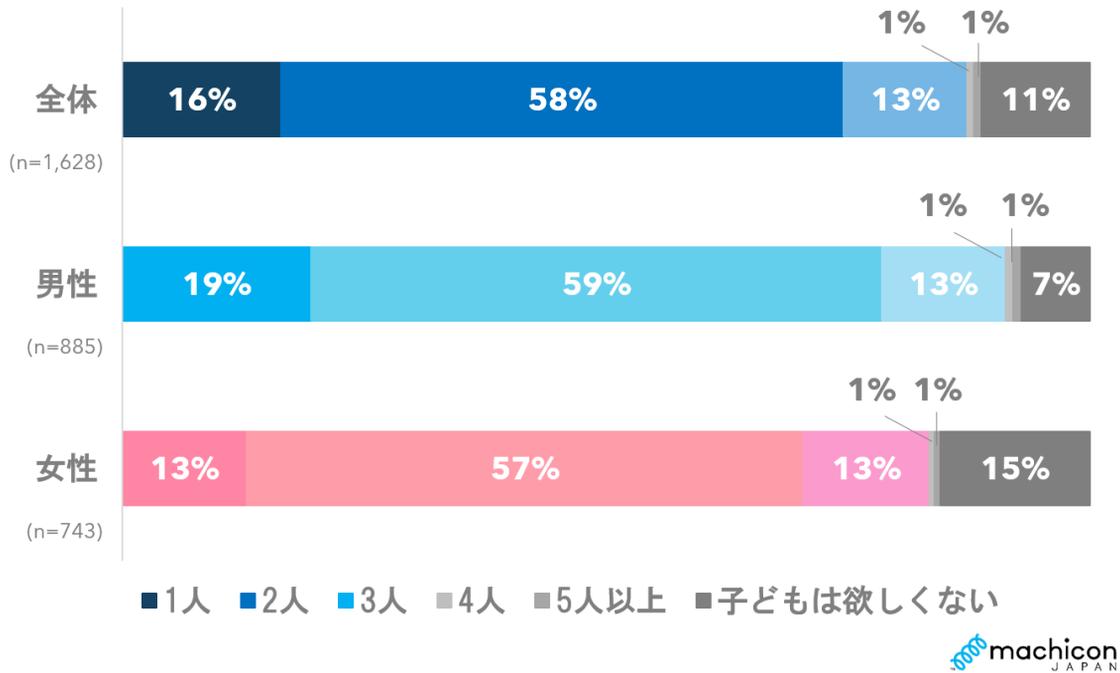
相手に求める家事・育児への参加度は？



4-5. 将来の子供「2人欲しい」が約6割

将来子供が何人欲しいかを調査すると、男性59%、女性57%が「2人」欲しいと回答。一方で、およそ10人に1人が「子供は欲しくない」と回答しており、女性が男性に比べて8ポイント多い結果となった。

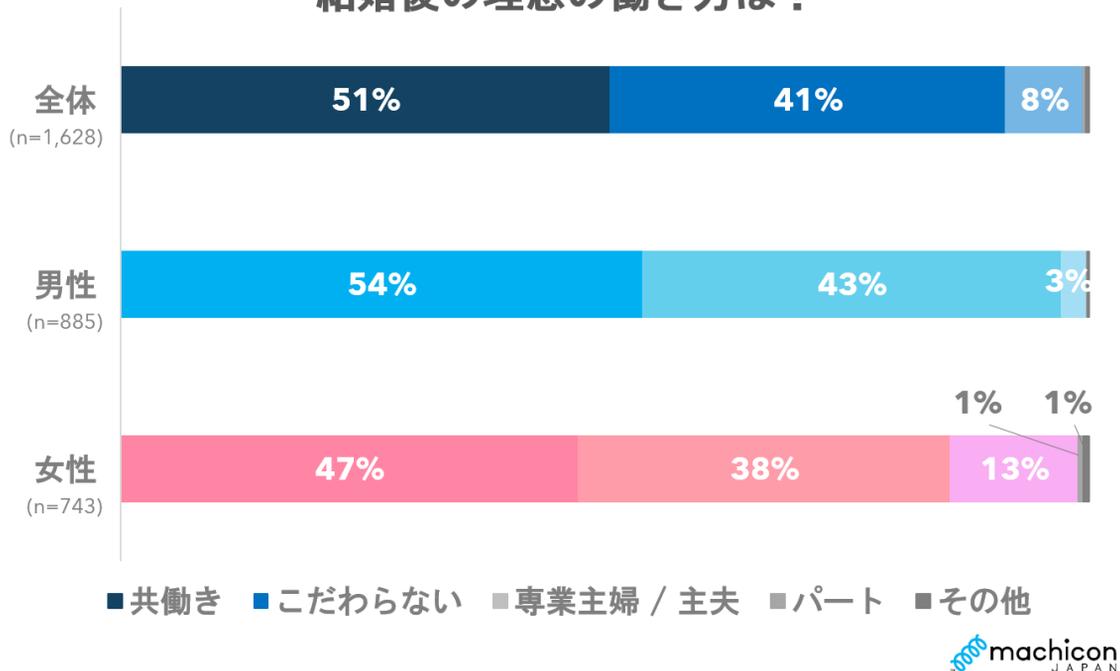
将来子どもは何人欲しい？



4-6. 結婚後の理想の働き方、2人に1人が「共働き」を希望

結婚後の理想の働き方について調査すると、男性54%、女性47%が「共働き」と回答。次いで「こだわらない」が男性43%、女性38%となった。

結婚後の理想の働き方は？



■ 調査結果からの考察

未婚男女の7割以上が「婚活サービス以外での出会いがない」と回答しており、日常の中で新たな出会いがないことが分かる。社会人にとっては、睡眠時間を除くと大半が仕事の時間になる。以前は職場恋愛・結婚も多かったが、近年では職場でのハラスメント対策が厳しくなり、安易にプライベートに踏み入ることができなくなった。そのため1日の大半を過ごす職場での出会いが難しくなり、「日常の中では出会いがない」という状況につながっているのではないかと考える。

現在利用している婚活サービスは「マッチングアプリ」が最も多く、今後利用したい婚活サービスは「対面型婚活イベント」が多くなっている。これは、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きいと考える。新型コロナウイルスの影響により、「対面型婚活イベント」は開催中止や規模縮小などが行われ、イベントの開催数自体が少なくなっている。また、感染リスク対策の面でも現在は、感染リスクなく出会える「マッチングアプリ」を通じて出会っている方が多いと考える。一方で新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いた際には、「対面型婚活イベント」を通じてリアルで会いたいと希望している方が多い。より安心・安全にリアルで出会える環境が求められていることが分かる。

相手の希望年収に関しては、男女ともに一定の年収を相手に求めていることが分かる。今回の調査では、25～34歳の男女が約6割回答している。国税庁が発表している令和元年分民間給与実態統計調査の年齢別平均年収を見ると、25～34歳の平均年収は、男性457万円、女性325万円²（小数点第一位を四捨五入）であり、男女ともに平均年収分の経済力がある相手を求めていることが分かる。また、結婚後の働き方についてもおよそ半数が「共働き」を希望しており、お互いに経済力を維持しながら結婚生活を送りたいと考えていることが分かった。

■ 調査結果を通じて

婚活サービスを利用している未婚男女を対象に「婚活・結婚意識調査」を実施したことにより、未婚男女の実態を知ることができた。リンクバルは、「出会いの価値を創出し、お客様の幸せを追求する」ために、イベントECサイト「machicon JAPAN」やマッチングアプリ「CoupLink」を通して新たな出会いの場を提供するだけでなく、オンライン結婚相談所「マリッジスタイル」やマタニティユーザーを対象にした結婚式場紹介サービス「ママ婚」を通して結婚前後のサポートも行っている。

今回の調査結果をもとに、よりお客様の幸せを追求できるよう、サービスの開発・向上に努め、出会いの場の提供と結婚前後のサポートを強化し、未婚化の解消に寄与していく。

²国税庁「令和元年分 民間給与実態統計調査」